

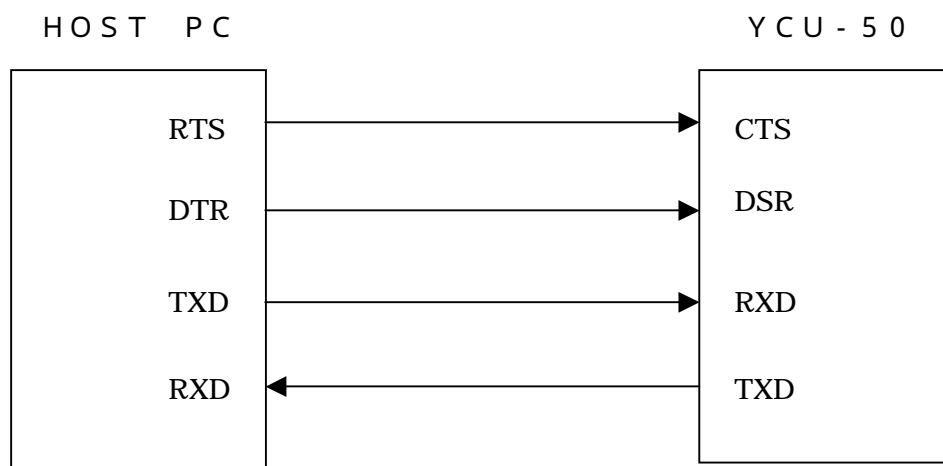
YCU-50の制御方法

YCU-50についての制御方法を説明します。

YCU-50はYSBシリーズに使用されているYCU-45と互換性がありません。
YCU-50をユーザーアプリケーションにて制御する場合はYCU50.DLLを使用するか、本文に記載されている制御方法を組み込む必要があります。
YCU50.DLLの使用方法についてはYcu50.DLL.pdfを参照して下さい。

1. 制御方法

YCU-50を制御する制御線について説明します。



YCU-50の制御線

CTS リセット入力

LOWを入力するとリセット状態になります。LOWを10ms以上入力して下さい。

リセット状態になるとYCU-50は下記の状態になります。

ボーレート	9600bps
データ	8ビット
ストップ	1ビット
パリティ	無し

D S R コントロール入力

LOWを入力するとYCU - 50はボーレートの設定モードになります。

ボーレートの設定モード状態でRXDからのデータにてボーレートを設定できます。

R X D データ受信

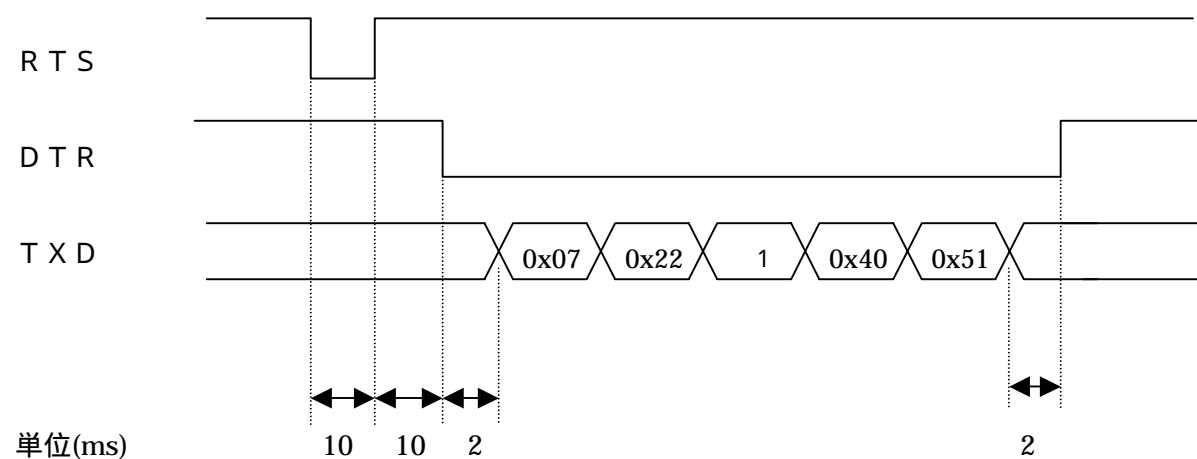
YCU - 50がボーレート設定モードの場合はボーレートの設定データを受け付けます。

ボーレートの設定モード以外の時は受信データを光通信にて送信します。

T X D データ送信

YCU - 50が受信して光通信からのデータを送信します。

2 . H O S T P C から Y C U - 5 0 の 制 御 タイ ミ ン グ



1 ボーレートの設定値を以下の値で設定して下さい。

2 4 0 0 b p s 0 x 3 0

4 8 0 0 b p s 0 x 3 1

9 6 0 0 b p s 0 x 3 2

1 9 2 0 0 b p s 0 x 3 3

3 8 4 0 0 b p s 0 x 3 4

5 7 6 0 0 b p s 0 x 3 5

1 1 5 2 0 0 b p s 0 x 3 6

- ・データ8ビット、ストップ1ビット、パリティ無しのデフォルト値は変更できません。
- ・時間の値は記述値以上の値にして下さい。